

科目名	ソーシャルワーク演習						
	【社会福祉士必修】						
授業形態	演習	学年	1年	開講時期	後期	単位数	5単位
担当教員	木村 淳也・久保 美由紀・鈴木 勲						

内容および計画	このシラバスは、2016年度から2017年度にかけて開講するソーシャルワーク演習のものです。相談援助職として社会福祉士に求められる知識や技術について、講義科目との関連性も視野にいれ実践的に習得すること、また、専門的援助技術として概念化・理念化し体系立てていくことができる能力を涵養することを目的としています。そのためソーシャルワーク関連の講義等と関連させながら、ソーシャルワーク実践の方法を少人数、演習形態により具体的に学んでいきます。特に、個別指導や集団指導をとおしての自己理解や相談援助の基礎を学ぶとともに、観察・面接・記録等の技法の習得やロールプレイング、事例研究を行い、相談援助職に求められる技術等を習得します。
1	オリエンテーション
2	チームワークの重要性について学ぶ
3	他者に自分を伝える方法
4	自己理解について学ぶ
5	自己開示と他者理解について学ぶ
6	コミュニケーション技術の基本について学ぶ
7	ソーシャルワークの価値について学ぶ
8	ソーシャルワークの倫理について学ぶ
9	ソーシャルワークの視点について学ぶ
10	面接場面の観察について学ぶ
11	面接の基本技法について学ぶ
12	記録の方法 ロールプレイによる逐語記録を作成する
13	記録の方法 ロールプレイの要約記録を作成する
14	記録の方法 逐語記録からケース記録を作成する
15	アセスメントとプランニング アセスメント面接について学ぶ

教科書	レジュメを配布します。
-----	-------------

参考書	
-----	--

成績評価	評価方法	割合
	受講態度・発表	50%
	ふり返りレポート	50%

学習到達目標	次の3つを目標にします。 個別、集団、地域を対象とする援助の全般を把握することができる。 アセスメントや面接の基本的技術を習得する。 事例検討をとおして、相談援助を必要とする人びとの特性等に応じた援助方法を実践することができる。
--------	---

先修条件	社会福祉学概論、児童家庭福祉、障がい者福祉論、高齢者福祉論、社会保障論
------	-------------------------------------

その他	ソーシャルワーク演習を履修しようとする者は、社会福祉学概論、社会保障論、ソーシャルワーク、ソーシャルワークを履修していることを要件とします。 さらに、ソーシャルワーク実習指導、ソーシャルワーク実習も履修していることが望ましい。
-----	--